

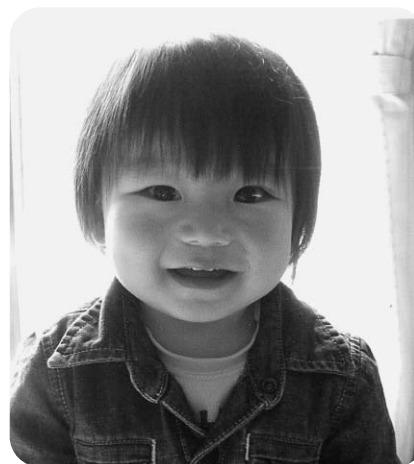
すこやかちゃん



しずく
穩空ちゃん(平成21年9月10日生)
両親＝青柳孝博・綾子さん〔二〕
「わたしは、パパが大好き。
早くパパと一緒に釣りがしたいな♡」



このか
好香ちゃん(平成21年9月5日生)
両親＝塚本雅也・菜美子さん〔蛇園〕
「クマさんのぬいぐるみ大好き♡
ほっぺでスリスリしちゃうよ」



みなと
湊音ちゃん(平成21年3月2日生)
両親＝向後和紀・有希さん〔口〕
「ぼくもお兄ちゃん達みたいに、
早く幼稚園に行きたいなあ」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



ふるさとの自然 5

短い命を精一杯生きる アブラゼミ

「ミンミンミン、ジージー、オーシイックツク」真つ青な夏空の下、あちらこちらからセミの鳴き声が聞こえてきます。市内には6種類のセミが住んでいます。その中でもアブラゼミは最もよく見かけます。夏の暑さをさらに増す「ジー」という鳴き声と、茶色の羽が特徴です。



夏を迎え最初に姿を見せるのはニイニイゼミです。小さなセミで「チー」というとても高い声で鳴きます。次に現れるヒグラシは、杉林などの暗い林を好み、朝夕に「カナカナカナ」という寂しげな声で鳴きます。夏の盛りにはアブラゼミやミンミンゼミも登場してにぎやかになります。小さな体からどうしてあのような大きな鳴き声が出るのでしょうか。オスのセミの腹の中は、空っぽの共鳴室になっていて、そこで音を響かせて大きくしています。メスは腹の中に卵を産むための仕組みがあるので、鳴くことができません。アブラゼミのオスは精一杯鳴いてメスを誘います。やがて交

尾して、メスは木の枝に産卵します。卵からかえった幼虫は木を降りて土の中に入り、木の根に口を差し込んで汁を吸います。暗い土の中で5年間を過ごした後、地上に出てきて殻から脱け出て大人のセミになりますが、その後の命はわずか1〜2週間ほどしかありません。

ツクツクボウシの「オーシイックツク」が聞こえてくると学校の夏休みも残り少なくなり、宿題が気になる時期になります。セミは種類によって現れる時期、鳴き声、住む場所や好む木、鳴く時間帯などが決まっています。夏休みの自由研究で調べてみるとおもしろいでしょう。

(齊藤敏一)

暮らしのカレンダー

- 1日(日) 天の川ライブフェスティバル 第6回旭市民音楽祭 (13:00~ 東総文化会館)
矢指ヶ浦・飯岡海水浴場(~8月22日(日))、
飯岡海浜プール(~8月29日(日))開設中
- 6日(金) 七夕市民まつり(~7日(土) 中央商店街路上ほか)
- 15日(日) 戦没者を追悼し平和を祈念する日

編集後記

夏真っ盛り、冷たい物がおいしい! 思い出すのが「クリームソーダ」子どものころ、食事に連れて行ってもらったと、よく頼んでもらったものだ。まぶしいくらい緑色と白いパナライス。しゃれた店では、サクラランボが載っていたりする。幼いわたしには、非常に魅力的であった。しかし、成人してから心変わりし、別な飲み物に恋をした。その名は「ビール」。この季節は、一段と輝きを増し非常においしい……。ちなみに今号の健康メモは「夏はアイスやジュース、ビールなどメタボへの誘惑がいっぱい!」です。(Y)